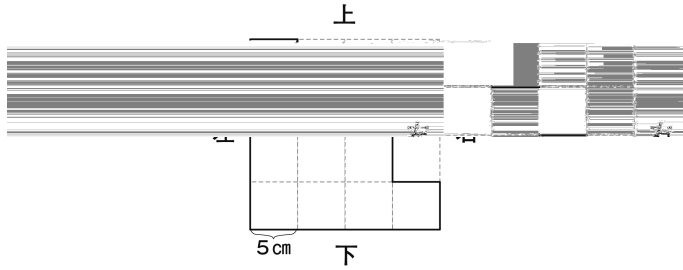


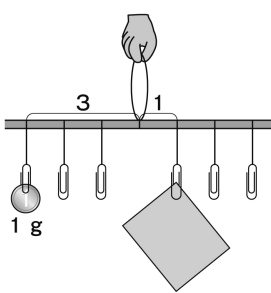
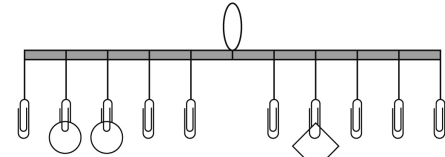
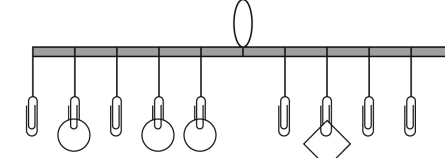
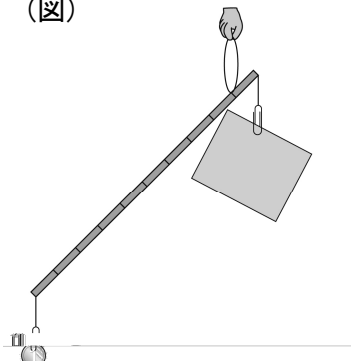
【平成22年度 適性検査Ⅰ 解答例】

研究1	課題1	<p>(例)</p> <p>「風車」や「雨雲」は、Aグループのように下の漢字の一番目の読み方がだく音に変わっている。また、Bグループのように上の漢字の二番目の読み方が(アの段に)変わっている。だから、「風車」や「雨雲」は、どちらのグループにも入る。</p>																	
	課題2	<p>(例)</p> <p>○「上手」という熟語を使った解答(五文)</p> <p>わたしたちは、学習発表会でげきをすることになっています。 だから、毎日、上手にえんぎができるように、みんなで協力しながら練習をしています。 わたしは、音楽係として、がんばっています。 でも、ぶたいの上手から主人公が登場する場面のせりふと音楽を流すタイミングが合いません。 本番まで、あと一週間なので、しっかり練習しようと思います。</p> <p>○「人気」という熟語を使った解答(三文)</p> <p>ぼくの家は、近所の人に人気がある。 なぜなら、目が大きくとても愛きょうのある顔をしているからだ。 でも、人気を感じると小屋に入ってしまうはずかしがりやだ。</p>																	
研究2	課題1	<p>(例)</p> 																	
	課題2	<p>(例)</p> <p>(図3)の「1段の立体」では色をぬる立方体の面は5面あり、「2段の立体」では色をぬる立方体の面は15面ある。 同じように、「8段の立体」で色をぬる立方体の面の数を考えると、</p> <table border="1" data-bbox="418 1608 1390 1697"> <thead> <tr> <th>段の数</th> <th>1段</th> <th>2段</th> <th>3段</th> <th>4段</th> <th>5段</th> <th>6段</th> <th>7段</th> <th>8段</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぬる面の数</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>30</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>105</td> <td>140</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">→    →    →    →    →    →    →</p> <p style="text-align: center;">10    15    20    25    30    35    40</p> <p>表にしてきまりを見つけると、「8段の立体」の色をぬる立方体の面の数は、180面とわかる。 だから色をぬった面積は、 <math>5 \times 5 = 25</math>    <math>25 \times 180 = 4500</math> (cm<sup>2</sup>) 絵の具で色をぬった面積 ( 4500 ) cm<sup>2</sup></p>	段の数	1段	2段	3段	4段	5段	6段	7段	8段	ぬる面の数	5	15	30	50	75	105	140
段の数	1段	2段	3段	4段	5段	6段	7段	8段											
ぬる面の数	5	15	30	50	75	105	140	180											



【平成22年度 適性検査Ⅱ 【桐蔭中学校】 解答例】

研究1	課題1	<p>(例)</p> <p>□Aは、ヘレン以外の人書いているから、出来事を中心に書いていて、□Bは、ヘレン自身が書いているから、心情をくわしく書いているところ。</p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>ヘレンは、水とコップのちがいに気づいたことをきっかけに、ものには名前があることがわかった。それは、ヘレンにとって大きな喜びだった。このように、この場面はヘレンが、ことばの本当の意味についてわかったところだから、「ことば」ではなく、「生きていることば」と表現し、その感激を表した。</p>
研究2	課題1	<p>(例)</p> <p>○絵本( 1 )冊 歴史( 3 )冊 文学( 5 )冊            ○絵本( 2 )冊 歴史( 6 )冊 文学( 2 )冊            ○絵本( 3 )冊 歴史( 3 )冊 文学( 4 )冊 など</p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>1箱に入る「図鑑」の冊数は、<math>42 \div 2 = 21</math> <math>21 \times 2 = 42</math>            1箱に入る「文学」の冊数は、<math>42 \div 3 = 14</math> <math>14 \times 2 = 28</math>            1箱に入る「図鑑」と「文学」の冊数の差は、<math>42 - 28 = 14</math>            「文学」は56冊入らなかったなので、<math>56 \div 14 = 4</math>            本箱は4箱ある。            4箱に入る「漢字辞典」の冊数は、  <math>42 \div 7 = 6</math> <math>6 \times 2 = 12</math> <math>12 \times 4 = 48</math></p> <p style="text-align: right;"><b>漢字辞典 ( 48 ) 冊</b></p>

<p>研究 3</p>	<p>課題 1</p>	<p>(例)</p>  <p>てこは、支点の左右でうでをかたむけるはたらきが等しいとき、つりあう。うでをかたむけるはたらきは、「おもりの重さ×支点からのきより」であらわすことができる。</p> <p>左のうでをかたむけるはたらきは、「1 g × 3 目もり」となる。右のうでをかたむけるはたらきは、「写真の重さ × 1 目もり」となる。</p> <p>だから、写真の重さは 3 g である。</p> <p style="text-align: right;">写真 1 枚の重さ ( 3 ) g</p>
	<p>課題 2</p>	<p>(例)</p> <p>○ 1 円玉 2 枚とつり合う場合の解答例</p>  <p>○ 1 円玉 3 枚とつり合う場合の解答例</p> 
<p>課題 3</p>	<p>(例)</p> <p>(図)</p>	<p>(説明)</p> <p>支点からの距離とおもりの重さで考えるとつり合うが、支点からの棒の長さがちがっている。だから、支点から右側の棒の重さと、支点から左側の棒の重さを比べると、左側の方が重いから、左側にかたむき、つり合わない。</p> 

研究 4	課題 1	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通機関の発達により、外国からの観光客などが増えているから。</li> <li>・ 商品の輸入や輸出（貿易）の増加により、日本で働く外国の人が多くなったから。</li> </ul>
	課題 2	<p>(例)</p> <p>○工夫された表示：駅にある券売機の点字表示        説明：目の不自由な人にとって、運賃がわかるよう工夫をしている。</p> <p>○工夫された表示：店の入り口にある車いすのマーク        説明：車いすを利用している人も買い物がしやすいことを伝える工夫をしている。</p>
研究 5	課題 1	<p>(例)</p> <p>1 ケースのねだんは、  <math>120 \times 30 \times (1 - 0.2) = 2880</math>        2880 円で買える 120 円のジュースの本数は、  <math>2880 \div 120 = 24</math>        24 本の時に、1 本ずつ買っても 1 ケースで買っても代金は、同じになる。        だから、1 ケースで買う方が安くなるのは、25 本から 29 本の場合となる。        どちらも 1 ケース目のねだんは同じなので、2 ケース買う方が安くなるのは、  <math>30 + 25 = 55</math>     <math>30 + 29 = 59</math>        55 本から 59 本の場合となる。</p> <p style="text-align: center;"><b>考えられる人数（55、56、57、58、59 人）</b></p>
	課題 2	<p>(例)</p> <p>1 か所ずつ順番に、3 人で作業をした場合  <math>12 \div 3 = 4</math>   <math>18 \div 3 = 6</math>   <math>24 \div 3 = 8</math>  <math>4 + 6 + 8 = 18</math>   18 分間かかることになる。</p> <p>3 か所に分かれて作業をした場合        「花だん A」を終えた人が「花だん C」を手伝うのは 12 分後。        「花だん C」の作業は、  <math>24 - 12 = 12</math>   <math>12 \div 2 = 6</math>   <math>12 + 6 = 18</math>        18 分間で終わる。        「花だん B」の作業は 18 分間かかるので、全ての作業は 18 分間で終わることになる。        だから、どちらの進め方でもかかる時間は同じになる。</p>